

### 敦賀発電所 2 号機の原子炉起動について

当社、敦賀発電所 2 号機(加圧水型軽水炉、定格出力 116 万キロワットは、定格出力で運転中のところ、12 月 24 日、原子炉格納容器内の化学体積制御系配管からの漏えいを発見したため、同日原子炉を手動停止しました。

なお、この事象による環境への放射能の影響はありません。

調査の結果、当該エルボの割れは、製造段階において配管の内表面に亜鉛が付着し、その状態で高温の曲げ加工を実施したため、低融点金属による粒界割れが発生し、その後の運転により、貫通に至ったものと推定されました。また、U ボルトの変形及び配管の擦り傷は、ボルトと配管の隙間に異物が混入し僅かに拘束されていましたが、割れの原因とはならないことが判明しました。

(平成 8 年 12 月 24 日、26 日、平成 9 年 1 月 20 日発表済)

対策として、当該エルボおよび調査のため切り出したエルボについては、曲げ加工時の製造管理を徹底し、割れないことを内面鏡で検査した新品のものに取り替え、耐圧漏えい試験により健全性を確認しました。

また、同じ工場で製造・加工した類似エルボについて、念のため超音波探傷試験により健全性を確認しました。

なお、変形した U ボルトは新品と取り替え、類似 U ボルトについても健全性を確認しました。

これらの対策作業が完了したため、本日夕刻、原子炉を起動し、翌 28 日午後 に発電を再開する予定です。

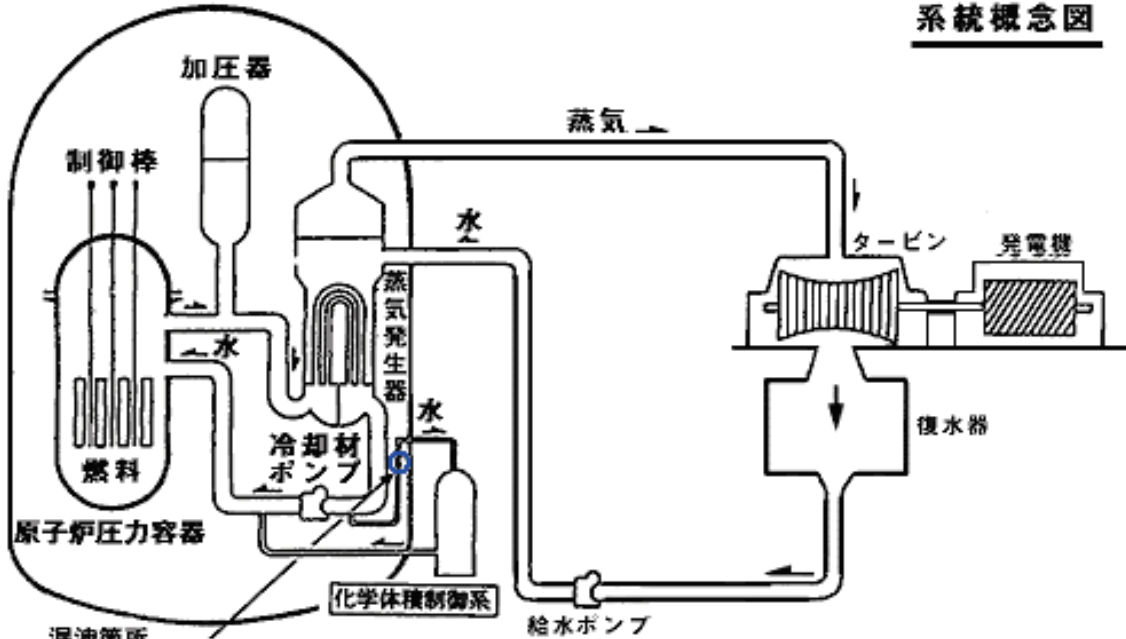
なお、本事象による外部への放射能の影響はありません。

また、資源エネルギー庁による国際原子力事象評価尺度 (INES) 暫定評価 では、レベル 0 とされている事象です。

以上

原子炉格納容器

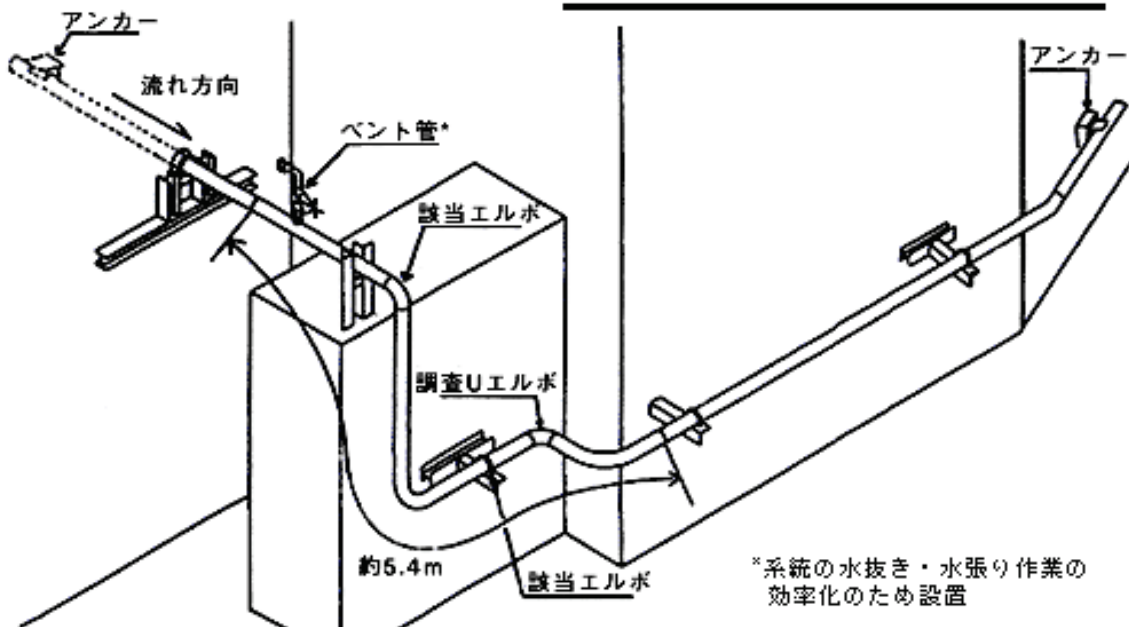
系統概念図



漏洩箇所

配管径：約89mm 厚さ：約11mm  
材 料：SUS316

化学体積制御系抽出配管取替範囲図



\*系統の水抜き・水張り作業の効率化のため設置